

はじめに

✦ 森の存在を抜きには語れない私たちの暮らし

森は木を育て、土壌をつくり、水を蓄えます。この木と土と水がさまざまな恵みをもたらします。森が育むミネラルに富んだ良質な水は、田畑を潤し、川や海の生命を豊かにします。上流の森は、洪水や渇水、土砂災害から下流域を守り、里や平野の森は、山崩れ、風雪害、飛砂、津波等から、農地や宅地を守ります。街中の森はヒートアイランドを緩和し、大気を浄化します。私たちの暮らしは、これら有形無形の森の“恵み”によって、支えられています。

森には“魅力”があります。森のある風景は人を魅了し、森の空間は、レクリエーションや憩いの場として、人を引きつけます。

また、近年では、産業活動の結果高まってしまった二酸化炭素による温暖化を防止・緩和するため、二酸化炭素を吸収・固定する森の“力”が注目されています。

✦ 森の国・日本は危機に瀕しています

日本は、国土の約3分の2が森で覆われた国。世界でも有数の「森の国」です。資源の少ないわが国が誇る資源、それが森です。

しかし、林業生産活動の低迷に伴って、手入れが十分に行われていない森が増えています。手入れされない森は、その“恵み”や“魅力”が低下するだけでなく、“力”も十分に発揮できなくなります。

私たちの暮らしを支えてくれている森は、今、危機的な状態にあります。私たちの暮らしになくてはならない森の危機は、私たちの暮らしの危機でもあります。

✦ 森の国・日本の危機を救う「森のCSV」

こうした中、企業による森づくり活動が広がりを見せ、現在、全国約1,400カ所（平成24年度）で行われるまでになっています。これら企業による森づくりは、CSR（企業の社会的責任）活動の一環として行われてきました。

一方で、社会貢献的な性格が強かった従来のCSRに代え、企業の事業活動を通じて社会的な課題を解決していくことを目指す「CSV（Creating Shared Value：共有価値の創造）」という新たな概念が注目されています。

事業活動と結びついた森づくりにより、森の国・日本の課題解決に貢献しつつ、企業価値も増大させる。そんな「森のCSV」活動を行う企業が出てきています。

✦ あなたの企業ならではの森との物語をつくることから始めましょう

このガイドブックでは、事例をもとに、「森のCSV」について、基本的な情報や活動の進め方などを紹介しています。

森のCSVのポイントは、森の“恵み”、“魅力”、“力”をあなたの会社の事業活動に結びつけ、オリジナリティのある物語をつくることです。

このガイドブックが、あなたの会社の森との物語づくりに役立ち、森づくり活動に活かされることになれば幸いです。